

令和7年度第1回 上下水道事業経営審議会

資料2

内水ハザードマップの 公表について

令和7年5月27日
上下水道部総務課

1. 策定の背景と位置付け

①内水ハザードマップとは

大雨時に下水道管や水路からの浸水が想定される区域や浸水する深さなどの様々な情報をまとめたマップであり、市民の浸水に対する円滑な避難行動や平常時からの防災意識向上に活用。

防災マップとの違いは？

- 現在公表されている防災マップは、岩木川・平川・腰巻川等が千年に一度の降雨によりはん濫した場合に想定される被害について記載。
- 今回の内水ハザードマップは大雨で下水道や水路などの排水施設が、能力を超えた場合などにより内水はん濫した場合に想定される被害について記載。

1. 策定の背景と位置付け

② 策定の背景

- 近年の気候による豪雨や台風の頻発により、多くの地域で水路や側溝があふれることによる道路冠水が増加。



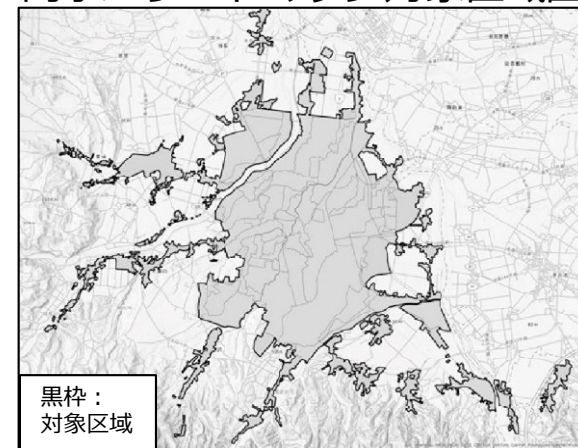
- このような事象をうけ国土交通省より、令和7年度までに下水道等による浸水対策を実施するすべての団体において、想定される最大規模の雨が降った場合の内水ハザードマップを作成し、内水浸水想定区域を公表することを義務化。

2. 範囲と記載内容

① 範囲

弘前市の下水道が計画されている区域を対象。

内水ハザードマップ対象区域図



② 記載内容

浸水想定区域	過去の大雨のデータを基に、想定範囲のシミュレーション。
浸水深	予想される浸水の深さを色分けして表示。 (白から赤へなるにつれ深くなる。)
その他	避難所や防災無線など緊急時に必要となる情報を記載。

3. 公表図面案

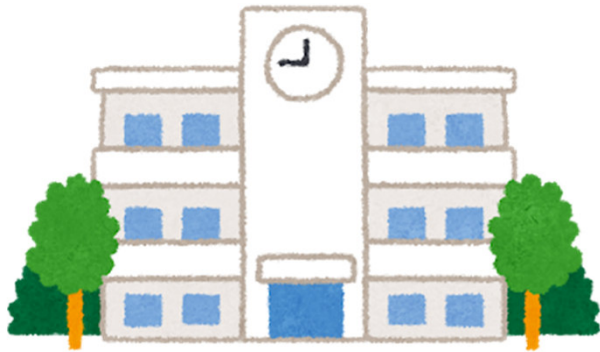


4. 今後の予定

○対象区域内に毎戸配布。

あわせて市ホームページにも掲載。

(令和7年11月予定)



学校や保育園・幼稚園、警察署等の施設にも配布。